すきっちゃやまぐち！ 今月の顔 vol.75 Love Yamaguchi!

『一会一生』

有限会社総合保険山口
代表取締役
江藤　徹
山口商工会議所　１号議員

1947年山口市生まれ。高校卒業までを山口市内で過ごし、卒業後は神戸で就職。10年間神戸で過ごして、山口に戻った。昭和61年から保険の代理店を始め、現在にいたる。趣味はドライブで、自分の運転で友人と遠出をするのが楽しみ。これまでで一番長時間運転したのは、友人と福井県まで行ったとき。

［企業概要］
㈲総合保険山口
住　所：山口市大内長野 1500
ＴＥＬ：083-927-3553
従業員数：１名

江藤社長のプロフィールを教えて下さい。

現在会社がある場所が実家で、ここで生まれ育ちました。中学校卒業までは地元の学校へ、高校は宇部市内まで通いました。その頃、私の父は大工をしていて何人かお弟子さんや従業員もいたのですが、私には跡を継ぐ意志が全くなく、高校卒業後は神戸製鋼への就職を決めました。父にも私が跡を継ぐ意志がないことを話していましたので、父が仕事を引退するときに、大きな機械などは全てお弟子さん達に譲りました。

神戸製鋼では、伊丹工場に勤務していました。特に「コレがやりたい！」と目標を定めて就職したわけではなかったと思いますが、２年ほど働いた頃から「そのうち山口市に戻りたい」と思うようになりました。ちょうどその頃、大野メリヤスが山口市にも工場を作るという話を聞き転職しました。山口市に工場ができ稼働が始まったのですが、私は大野メリヤスの本社（伊丹市）で勤務しており、山口にはなかなか戻ることができませんでした。そのまま神戸での勤務が続き、10年経ってやっと、転勤で山口市に戻ることができました。

山口オーノニット（大野ニット山口）では、スポーツウェアや肌着などを中心に色々な繊維製品の製造を行っていたのですが、その頃から繊維製品は中国産の安価な製品の流通が始まっており、国内のニット工場は軒並み景気が悪くなってくる時期でした。やっと山口に戻って来たのに…という思いもありましたが、このままここで働いていてもいつかは行き詰まるのかも知れないと考え、昭和61年、住友海上の保険代理店を始め、現在にいたります。

趣味のドライブでは、福井県から白川郷、長野を回って関西に出て…という旅をしたのが、一番の長旅だったと思います。約12時間かけて一気に福井県まで行きました。ほぼ全行程を私が運転しましたので、今にして思えば「あの頃は元気が良かったな～」というところでしょうか。今でも年に１回秋頃に友人と出かけているのですが、以前に比べると遠出をすることは減りました。

㈲総合保険山口について教えて下さい。

山口オーノニットを退職し、そのころちょうど販売推進員の募集をしていた住友海上の保険代理店になろうと応募したのが昭和61年です。１年半程度の研修を経て保険代理店業をスタートしました。その後、昭和64年１月４日に法人化したのですが、その３日後の１月７日、昭和天皇が崩御され、平成元年になりました。よく「昭和64年に法人化した」と言うと相手から「え?」という反応をされるのですが、前述の通りです。

住友海上（現在は三井住友海上）とAflacを取り扱う代理店として創業して以来、今は東京海上日動、オリックス生命の保険も取り扱っています。私が代理店業務を始めたときも、まだまだ保険業はハシリといえる頃でしたが、山口市内には私より1～2年早く代理店業務を始めた方々が多かったと思います。私の場合は、山口市内のお客様と、高校時代を過ごした宇部市のお客様、妻の地元である萩市のお客様が1：1：1程度の割合です。

スローガンの「一会一生（いちえいっしょう）」とはどういう意味でしょうか？

「一期一会」という言葉はよく耳にすると思います。「一期一会」は茶道の心得としても有名な言葉で、「あなたと出会っているこの時間は、二度と巡っては来ないたった一度きりのものです。だから、この一瞬を大切に思いましょう」という私自身も大好きな言葉ですが、どうしても「出会いの、その場面を大切にしよう」という意味に思えてしまい、その後はどうするのか…という疑問を持っていました。そこで、自分で造ったのが「一会一生」という言葉です。一度の出会いを大切にして、その後も一生その日の出会いを大切にして縁を続けていこう、「一期一会」からずっと続く関係を築いていこう、という意味を込めました。

オフィス内に置いてある「一会一生」。オリジナルで作っていただいたそうです。

オリジナルロゴにも「一会一生」の文字が。名刺にも使われています。

どんな仕事でもそうだと思いますが、保険業は信頼関係が重要な仕事ですので、人と人とのつながりがとても大切です。いつでも「一会一生」の気持ちをもって、真面目に誠実に、仕事を続けていきたいと考えています。

山口市について、どのような思いを持っておられますか？

私は生まれも育ちも大内ですが、私が育った頃と、随分と様変わりしたと思います。私が小さい頃は、周辺はほとんど田んぼばかりで、お店などもあまりありませんでしたが、そのころからあるお店といえば「あっはっはの松西」さんで、父がよく行っていたのを覚えています。

私は団塊の世代ですので子どもはとても多くて、1クラス50人で1学年3クラスくらいはいたと思いますが、それでも大内に小学校は1つでした。今は大内には小学校が2か所もあり、どちらもマンモス校だと聞きますので、新しい家と若い人たちが増えて、とても賑わっている様子ですね。以前、自治会のお世話をさせていただいたことがありますが、自治会に新しく入って来られる方も多くて驚いた覚えがあります。

その分、昔に比べると隣近所での気楽な付き合いという様子ではなくなって、子ども達に気軽に声をかけられるような雰囲気ではなくなってしまったのが少し寂しい気持です。

それでも、山口市は暮らしている人を含め、まち全体が穏やかで素晴らしいと思います。ただ、広島や福岡などの大都市に囲まれて、埋もれてしまっているのが現状ではないでしょうか。もっと効果的に「まちの魅力」を発信できる方法を検討できると良いですね。

今後の目標を教えて下さい。

みなさんによりよいご提案ができるようにと、ファイナンシャルプランナー資格を取得するために勉強し、日本FP協会の2級資格までは取得したのですが、1級には届きませんでした。今は勉強を中断しているところですが、また機会があれば挑戦したいと考えています。

また、これから少しずつ考えていこうと思っているのが、取り扱う保険会社を少し減らすことです。というのも、保険は制度や内容がどんどん変化していくものなので、年齢的にもたくさんの商品の内容を覚えて説明するということが、さすがに難しくなってきたと感じているからです。

今は保険業法が色々と厳しくなっており、取り扱っている保険会社の同様の商品を、全て同じようにお客様に説明しなくてはならないというルールができています。私自身が、お客様の様々な事情を考慮して「これが一番良いだろう」と思っていても、その商品だけを説明するのはルール違反になり、とにかく全て、覚えておいて説明しなければなりませんので、取り扱う保険会社が多いほど大変です。

日本の保険会社は、多くの会社が統合・合併されて保険会社自体の数はどんどんと減っていますが、その分、会社の規模は大きくなっていますね。海外の大手保険会社に対抗する措置として、合併・統合が増えているのではないでしょうか。私が創業した当初に比べると、海外からも大手がたくさん参入しており、大変な時代になっていると思います。選択肢が増えることは、お客様にとっては良いことだと思いますが、その中から「一番合うもの」を選択していただけるお手伝いができるよう、これからも誠意と熱意を持って、「一会一生」の気持で頑張りたいと考えています。

技能検定合格証書

あなたは職業能力開発促進法の規定による右の職種に係る技能検定に合格したので ここに合格証書を授与し右の技能士の名称を 称することを認める

理事長 牧野 昇

理事長 古田 正輝

平成15年に取得した「ファイナンシャルプランナー資格」。